



本町(昭和10年頃)

旧道

和田警察署
今は人口2000人(昭和20年時点)ですが、当時は6000人も人がいたため、警察署のほか、登記所、帝室林野局担当区が設置されていました。

旧遠山中学校
町が賑わい、人口が増加していく中で、子どもたちの教育にも力を入れました。かつて南信濃地区には和田・木沢・八重河内・南和田の各村にそれぞれ中学校がありました。昭和20年代に4地区合同の遠山中学校が新設されて、全校生徒は500名程度になりました。

合同倉庫
政治・経済の中心地であった和田宿は、様々な入交で賑わい、質素な生活の中にあっても楽しみを自ら作り出しました。

合同倉庫では、映画が上映されたり、旅芝居や歌謡ショー、地元住民による演芸大会のど自慢・討論会などが開催されました。娯楽の少ない時代でしたので、倉庫はいつも満員で、壁の間から覗こうとする大あました。また、若い男女が知り合う場でした。当時、和田劇場と呼ばれることもあったようです。

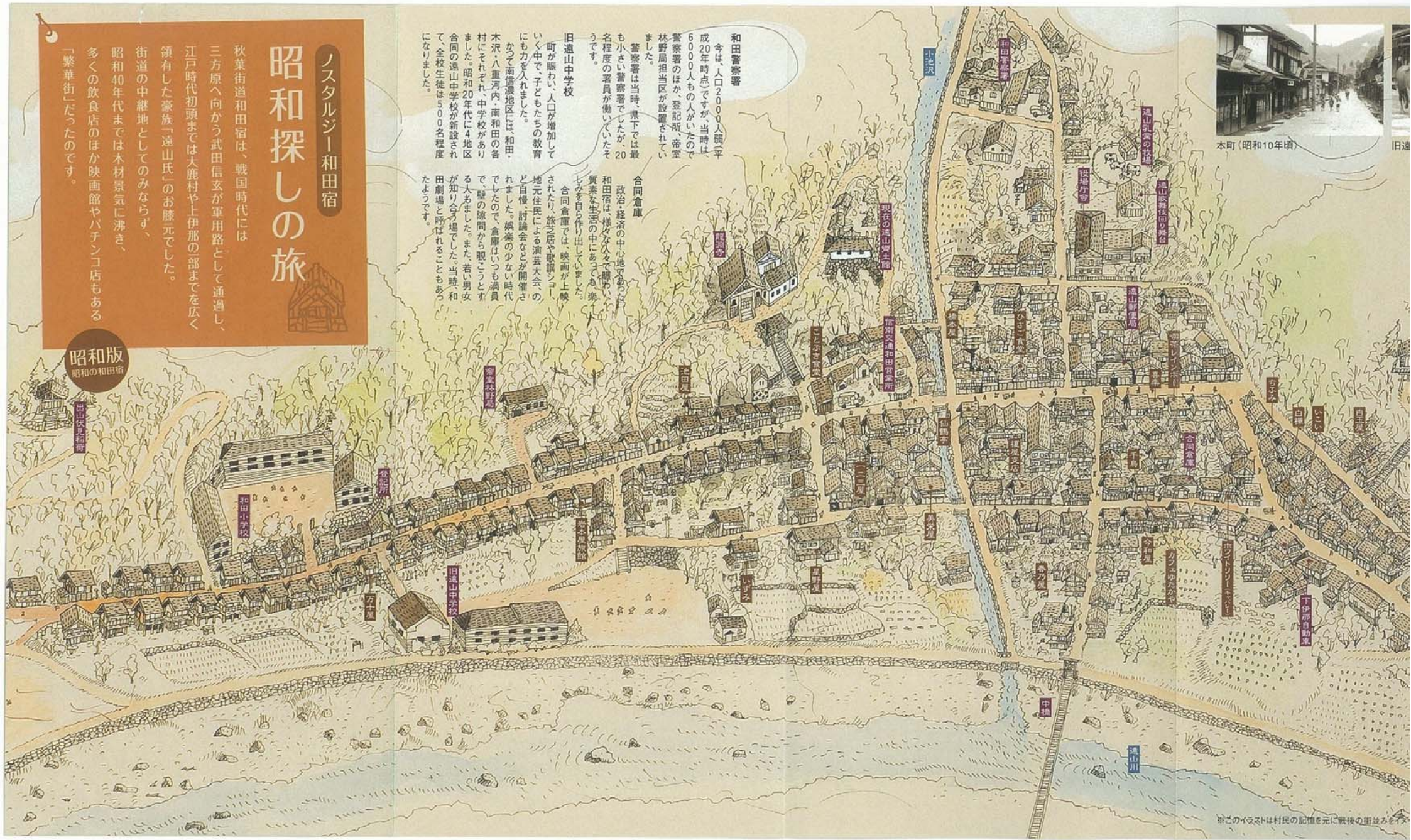
ノスタルジー和田宿

昭和探しの旅

秋葉街道和田宿は、戦国時代には三方原へ向かう武田信玄が軍用路として通過し、江戸時代初頭までは大鹿村や上伊那の部までを広く領有した豪族「遠山氏」のお膝元でした。

街道の中継地としてのみならず、昭和40年代までは木材景気に沸き、多くの飲食店のほか映画館やパチンコ店もある「繁華街」だったので。

昭和版
昭和の和田宿



※このイラストは村民の記憶を元に数棟の街並みをイメ